

- 講師：松沢寿重(新潟市美術館)
清水義晴(株式会社博進堂 顧問)
- 日時：2017年9月10日(日)13:30~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：12名

[プログラム]

- 講話「創庫美術館の軌跡」/松沢寿重氏
- 対談「理念空間の創造」/松沢寿重氏×清水義晴氏



地方都市における現代アートの可能性 創庫美術館をめぐるって

9月10日、創庫美術館をめぐるっての講座が開催されました。講師は新潟市美術館学芸員の松沢寿重さんと博進堂顧問の清水義晴さん。清水さんは創庫美術館「点」の点主であり、松沢さんは東京の大学を卒業した後に地元新潟に戻られ、美術館スタッフとして活躍されていました。

松沢さんは博進堂の恩師である藤坂先生の系譜から読み解き、なぜ博進堂が現代美術に特化した美術館を開館したかを客観的な視点で解説されていました。清水さんが藤坂先生に連れられ訪れた、津高和一氏の自庭展に影響を受け、「このような人が集まる場所を新潟でつくりたい」と思ったことがキッカケだったそうです。

創庫美術館は新潟の現代美術作家を育てるため、先進的な作家だけでなく地元の若手作家たちの発信の場でもありました。また、館内だけでなく、古町などの街中に出てアートイベントを開催したり、新潟の現代美術の草創期を担ったと言っても過言ではないでしょう。

[講師より]



新潟市美術館
松沢寿重

あなた あなた さまよ
山の彼方に幸いを求め彷徨っていた22歳当時の私を、強烈な引力で故郷へ引き戻してくれたのが、創庫美術館でした。その活動の一端に初めて触れた時、大きく揺さぶられた心の振幅は今も忘れません。それは、時代を拓く冒険の精神に満ち、瑞々しい創造性にあふれ、世界へとつながる最短経路の入口のように思えたのです。あの美術館で数年間を過ごした経験は私の一生の宝物です。ただ懐かしい思い出として胸にしまっておくだけでは余りに勿体ない、というのが長い間の気掛かりでしたが、今春、機会を得て研究紀要の論考にまとめさせていただくことが叶いました。分けても創庫美術館に至る「作品主義」の道程を辿った心の旅は、何が枯れない根で、それは何処まで伸びているか、という事を尋ねる旅でもありました。そうした事どもをご参加の皆様と共有できましたならば光栄です。



株式会社博進堂
顧問
清水義晴

「創庫美術館」は、館内だけにとどまっていたわけではありません。古町五番町の百五十メートルのモール街に五百本の彩色をした杉材を使って虹のアーチを創って「アートで街は変わるか!？」というイベントをやったり、鳥屋野潟研究会の人たちと共に、「鳥屋野潟を考える会」を開催したり、シネウィンドとの共催で、万代島の倉庫で「万代島二十四時間フォーラム」を開催したりと、新潟のまちづくりの起爆剤となるような活動を連発しながら、まちづくりネットワークをつくる役割も果たしてきたのでした。それらの活動の結果、私はまちづくり活動に参加するようになり、今日に到っているのです。



CHECK OUT CARD

～新島の経済を
もっと身近に～



～新島の未来を
もっと身近に～

『いから経済新聞』
も取り組んでいきます。

CHECK OUT CARD

これまで「歴史」に感謝。
思い活動も
つなげる。行動する。

CHECK OUT CARD

松沢さんのお話
とても聞きやすく
あったりまでした。
作品集をつくることの
意味、大切さをいびと
感じました。
(「マイクがあったほうが、より
聞きやすいのでは」と感じました)

CHECK OUT CARD

- 津高さんの
自邸展のイメージが
最重要!!
- ピアンカの
メンバーに
今日、もって大勢
来て欲しかった

CHECK OUT CARD

日本経済の絶頂期に
文化の担い手としてアートに
支援し続けていたことが
大変よくわかりました。

CHECK OUT CARD

7年前の濃密な時間
一気に駆けぬけた時代
よく調べていたこと。
お成とうごころでした。
一緒に活動している事
楽しい思い出として
環境が「仕事」人生に
大いに影響を与え元氣。



CHECK OUT CARD

倉庫美術館の存在を初めて知りました。
 松沢様の丁寧で熱い発表はとても分かりやすく、引き込まれました。
 新潟の現代美術を語る上で不可欠な存在であったことを知り、貴重なお話しが聴けてとても良かったです。

CHECK OUT CARD

温故知新。
 以前の活動の目的と軌跡亦をかみしめながら、新しい次への動きのヒント・刺激になった。

CHECK OUT CARD

仕事に追われては「か」りの毎日であるが、自身を高めるため美術館などに足を運ぼうと思っています。

CHECK OUT CARD

よい機会でした。
 講座の内容もとても良かったです。
 素朴な出会いと再会に感謝します。

CHECK OUT CARD

倉庫美術館の存在が新潟の現代アート活動に大きな影響を与えていた事にオトキでした。
 大きな存在だったけにならなくなったことはおまします。
 倉庫美術館で培った理念を博進堂の社員としていっしょに継ぎ未来へつなげていく使命感を持っていからの業務に活かしていきたいと思ひます。

CHECK OUT CARD

倉庫美術館 実際体験してみたいです。集める、見せる前にとモ🐱に会えるという姿勢仕事にも大切かと思ひました。ここでしか聞けぬとてモ面白いお話 ありがとうございました。

